

2025年 5月22日

京成電鉄株式会社

安全・安定輸送の追求と、人と環境に優しい鉄道へ

2025年度 鉄道事業設備投資計画

昨年度実績比138億円(+59%)増の総額371億円

京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:小林 敏也)では、2025年度、鉄道事業で総額371億円の設備投資を実施します。

お客様により安全・快適にご利用いただけるよう、鉄道施設の強靱化や、輸送障害等異常時における対応力強化、計画的な施設更新などの安全対策を強化します。また、バリアフリー化工事や駅施設のリニューアル、環境負荷の低減など、日々の暮らしに寄り添う、人と環境に優しい取り組みを実施します。さらに、成田空港の更なる機能強化への対応のため、宗吾車両基地における新工場建設工事を推進します。

本件の詳細は、次頁の通りです。

<概要>

(1)安全・安心

- 駅ホームの改修、車内における防犯カメラ設置など、安全対策を進めます。
- 駅舎・高架橋柱の耐震補強工事や法面補強工事を進めます。
- 押上線 葛飾区内(四ツ木駅～青砥駅間)の連続立体交差事業や、京成本線 荒川橋梁架替工事を進めます。
- 運行管理装置、日暮里変電所や二和変電所など、鉄道施設の更新・改良を進めます。

(2)日々の暮らし

- ホームドアの整備やエレベーターの設置など、バリアフリー化を進めます。
- 京成佐倉駅や松戸駅など、駅施設のリニューアルを進めます。
- 更なる環境負荷の低減を図るため、駅・車内照明のLED化を進めます。
- 昨年度デビューした3200形を新たに2編成(12両)導入します。

(3)空港輸送

- 宗吾車両基地における新工場建設工事を進めます。

2025年度 鉄道事業設備投資計画について

1. 投資額

371億円（昨年度実績比※ +138億円(+59%)）

※松戸線の実績は除く

2. 主な取組み



(1)安全・安心

① 駅・車内の安全対策の強化

● 駅ホームの改修

駅ホームにおける老朽化対策の一環として実施している、みどり台駅の改修工事が今年度に完了します。引き続き、宗吾参道駅、新津田沼駅の改修工事を実施します。



▲ 駅ホーム改修工事イメージ

（京成佐倉駅ホーム 2023 年度実施）

● 防犯カメラ、非常用はしごの設置

テロ等の危険行為に対応するため、

2019年度より実施している通勤型車両の車内への防犯カメラの設置が今年度に完了します。また、松戸線の車両において非常用はしごの設置を推進します。

② 耐震補強工事

大規模地震への対策として、京成佐倉駅等のホーム上家耐震補強工事が今年度に完了するほか、みどり台駅駅舎及びホーム上家耐震化工事に着手します。

また、2023年度より実施している総武線乗越橋梁耐震補強工事が今年度に完了します。さらに、千葉寺駅～ちはら台駅間の高架橋柱等の耐震化に引き続き取り組みます。



▲ 耐震補強工事イメージ

（市川真間駅ホーム上家 2024 年度実施）



▲ 耐震化工事イメージ

（京成中山駅駅舎耐震化 2024 年度実施）

③ 法面補強工事

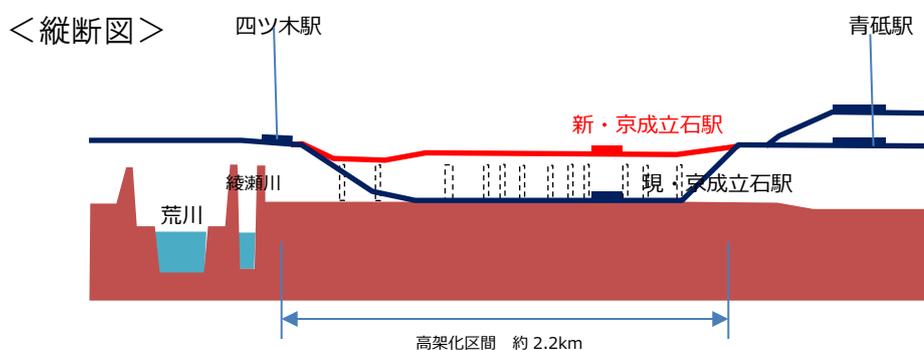
集中豪雨などにより法面(線路脇斜面)の土砂が流出することを防ぐため、京成成田駅～空港第2ビル駅間等の法面補強工事を引き続き実施します。



▲法面補強工事イメージ(谷津駅～京成津田沼駅間 2023年度実施)

④ 連続立体交差事業の推進

押上線葛飾区内(四ツ木駅～青砥駅間)の連続立体交差事業について、仮上り線工事を進めます。この事業が完了すると、平和橋通りなどの沿線にある11カ所の踏切が廃止され、道路・鉄道それぞれの安全性が向上するほか、踏切による交通渋滞が解消します。これに伴い、これまで鉄道により分断されていた市街地の一体化を図ることができ、魅力あるまちづくりが推進されます。



⑤ 京成本線荒川橋梁架替工事の推進

沿線地域防災への取組みとして、国の荒川下流特定構造物改築事業である京成本線荒川橋梁架替工事を事業完了に向け引き続き推進します。



<新橋設置時のイメージ>

⑥ 鉄道施設の更新・改良

安全性の維持・向上のため、各種鉄道施設の計画的な更新・改修工事を実施します。

列車の集中制御を担う運行管理装置の全面的な更新に着手するほか、日暮里変電所や二和変電所の設備更新を実施し安定的な電力供給を図ります。また、青砥駅において駅の転てつ機と信号機を安全に連動させる装置の更新を推進するほか、松戸線において C-ATS(自動列車停止装置)への更新が終了し全線での整備が今年度に完了します。さらに、線路の下に撒く砕石の厚みを増す工事や、軌道変位が生じにくいマクラギ(ラダーマクラギ)への交換を推進し、乗り心地の改善を図るとともに、自動券売機および自動改札機等の駅務機器について更新を実施します。このほか、千住第1架道橋における防護柵落下事象を踏まえ、当該箇所及び同種構造の防護柵の対策工事に着手します。

(2) 日々の暮らし



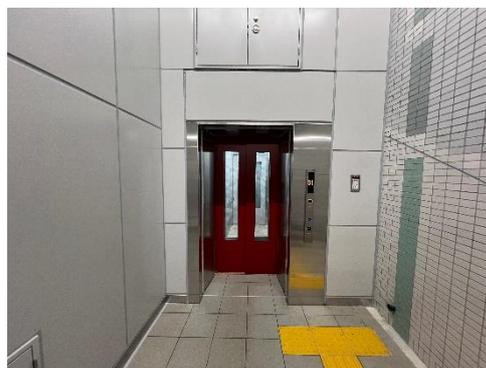
京成電鉄では、ホームドアをはじめとしたバリアフリー設備の整備を推進するため、2024年3月より「鉄道駅バリアフリー料金制度」に基づく料金収受を開始しました。すべてのお客様へ更に安全・安心・快適にご利用いただける鉄道を目指します。

① 駅のバリアフリー化

駅ホームからの転落や列車との接触による事故を防止するため、青砥駅、京成高砂駅、鬼越駅のホームドアの設置を引き続き推進するほか、堀切菖蒲園駅、八広駅、市川真間駅、京成中山駅、船橋競馬場駅のホームドアの設置に着手します。また、新千葉駅について、エレベーターやスロープ、バリアフリートイレの整備が今年度に完了します。さらに、大森台駅について、エレベーターやバリアフリートイレの整備が今年度に完了するほか、大佐倉駅について、スロープやバリアフリートイレの整備に着手します。



▲ホームドア設置イメージ
(押上駅 2023 年度実施)



▲エレベーター設置イメージ
(勝田台駅南口 2024 年度実施)

② 駅施設リニューアル工事

京成佐倉駅について、ホーム上家耐震補強とあわせて駅舎リニューアル工事を実施するほか、松戸駅について、リニューアル工事を引き続き推進します。また、京成稲毛駅トイレのリニューアルを実施します。



▲駅リニューアルイメージ
(青砥駅 2024年度実施)



▲松戸駅リニューアルイメージ

③ 駅・車内照明のLED化

更なる環境負荷の低減を図るため、各駅構内および車内照明のLED化工事を推進します。

④ 3200形車両の追加導入

昨年度デビューした3200形について、新たに2編成(12両)導入します。



▲3200形車両

(3) 空港輸送



① 成田空港の機能強化に合わせた空港アクセスの強化

成田空港の更なる機能強化への対応のため、宗吾車両基地拡充工事計画における新工場建設工事を推進します。

<新工場完成のイメージ>



以上